

3 島谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことにしました。次は、島谷さんが最初に書いた【文章1】と書き直した【文章2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章1】

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をろくがして、各学級にしようかいしたという活動がすばらしいと思いました。
この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせいしました。
わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。
そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子を、ろくがして、各学級にしようかいしたそうです。
この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを、いはんせいしました。
わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

- 1 島谷さんは、【文章2】の の部分をどのようなことに気をつけて書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 2 自分の考えが明確に伝わるように、自分の考えを最初に書いている。
- 3 自分の考えが明確に伝わるように、引用することで、書き出しをくふうしている。
- 4 他の人が読みやすいように、事実と感想とを区別して、書き出しを書いている。
- 5 他の人が読みやすいように、事実と感想とを区別して、書き出しを書いている。

解答らん



※問題は、次のページに続きます。

二 島谷さんは、川口さんと【文章2】を読み合い、感想を伝え合いました。次の【伝え合いの様子の一部】をよく読み、あとの問いに答えましょう。



【伝え合いの様子の一部】

島谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。

川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことを

もとにしているからだね。

島谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。

川口さん 最後の段落がいいね。なぜかという点、最初の段落の内容をより具体的に書いて
いるから、今年ががんばろうとしていることがくわしく伝わってきたよ。

島谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を

伝えるね。

〽（伝え合いが続く）

（問い） 島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせ、書いて書きましょう。

〈条件〉

- 【文章2】のよさを書くこと。
- 【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

解答らん

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

◆

60字

100字

※問題は、次のページに続きます。

三 島谷さんは、【文章2】を読み、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。

次の——部アを漢字でていねいに書きましょう。

南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアろくがして、各学級にしようかいたそうです。

解答らん

次の——部イを漢字でていねいに書きましょう。

そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイはんせいしました。

解答らん

次の——部ウを漢字でていねいに書きましょう。

運動が苦手な人もウしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいたいです。

解答らん

(しむ)

※問題は、次のページに続きます。

四 島谷さんは、「六年生としてがんばりたいこと」を手紙で伝えたいと思い、(一)を書きました。そして、相手の読みやすさを考えて(二)のように書き直しました。島谷さんが書き直すときに気をつけた内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

(一)

うららかな春の日が続いています。
いかがお過ごしてしょうか。
わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

(三)

うららかな春の日が続いています。
いかがお過ごしてしょうか。
わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

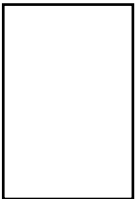
1 とめやはねの書き方

2 文字の大きさ

3 文字と文字との間

4 行の中心

解答らん



3 島谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことにしました。次は、島谷さんが最初に書いた【文章1】と書き直した【文章2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章1】

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をろくがして、各学級にしようかいしたという活動がすばらしいと思いました。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子を、ろくがして、各学級にしようかいしたそうです。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを、いはんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

- 一 島谷さんは、【文章2】の [] の部分をもどのようなことに気をつけて書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 自分の考えが明確に伝わるように、自分の考えを最初に書いている。
 - 2 自分の考えが明確に伝わるように、引用することで、書き出しをくふうしている。
 - 3 他の人が読みやすいように、事実と感想とを区別して、書き出しを書いている。
 - 4 他の人が読みやすいように、自分の考えとその理由を最初に書いている。

解答らん

1

※問題は、次のページに続きます。

二 島谷さんは、川口さんと【文章2】を読み合い、感想を伝え合いました。次の【伝え合いの様子の一部】をよく読み、あとの問いに答えましょう。



【伝え合いの様子の一部】

島谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。
 川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもとにしているからだね。

島谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。
 川口さん 最後の段落がいいね。なぜかということ、最初の段落の内容をより具体的に書いているから、今年がんばろうとしていることがくわしく伝わってきたよ。

島谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。

〜 (伝え合いが続く) 〜

(問い) 島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせてください。

〈条件〉

- 【文章2】のよさを書くこと。
- 【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

解答らん

二 例					
り	活	い	さ	い	わ
し	動	た	い	こ	た
た	を	り	ば	と	し
と	、	、	い	を	の
こ	最	運	委	伝	文
ろ	後	動	員	え	章
で	の	委	の	る	の
す	だ	員	活	た	よ
	ん	と	動	め	さ
	落	し	で	に	は
	に	て	反	、	、
	具	進	省	南	今
	体	め	し	さ	年
	的	た	た	ん	が
	に	い	こ	の	ん
	書	新	と	話	ば
	い	た	を	や	り
	た	な	書	、	た

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

※問題は、次のページに続きます。

三 島谷さんは、「文章2」を読み、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。

次の——部アを漢字でていねいに書きましょう。

南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアろくがして、各学級にしようかいたそうです。

解答らん

録画

次の——部イを漢字でていねいに書きましょう。

そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイはんせいしました。

解答らん

反省

次の——部ウを漢字でていねいに書きましょう。

運動が苦手な人もウしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいたいです。

解答らん

親

(しむ)

※問題は、次のページに続きます。

四 島谷さんは、「六年生としてがんばりたいこと」を手紙で伝えたいと思い、(一)を書きました。そして、相手の読みやすさを考えて(二)のように書き直しました。島谷さんが書き直すときに気をつけた内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

(一)

うららかな春の日が続いています。
いかがお過ごしてしょうか。
わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

(三)

うららかな春の日が続いています。
いかがお過ごしてしょうか。
わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

1 とめやはねの書き方

2 文字の大きさ

3 文字と文字との間

4 行の中心

解答らん

4
